

8 記入例

様式第1号(第4条関係)

(表)

景観計画区域内における行為の届出書

H●年 3月 1日

(あて先) 志摩市長

届出者 住 所 **〒###-####**
三重県志摩市●●町××番地

氏 名 **AA AA** 印

電話番号 **(0599) #-####**

法人その他の団体にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名及び電話番号

景観法第16条第1項の規定により、次のとおり届け出ます。

行為の種類	建築物等	(1) 建築物	ア 新築 イ増築 ウ改築 エ移転 オ外観の変更 カ色彩の変更				
			用途 (飲食店、物品販売店舗、事務所)				
	(2) 工作物	ア新設 イ増築 ウ改築 エ移転 オ外観の変更 カ色彩の変更					
		種類 ()					
	(3) 都市計画法第4条第12項に規定する開発行為	目的					
	(4) 土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更						
	(5) 屋外における土石、廃棄物、再生資源その他の物件の堆積						
行為の場所		志摩市 ●●町××-×					
行為の着手予定年月日		H●年 ●月 ●日		行為の完了予定年月日		H●年 ●月 ●日	
連絡先	所在地及び電話番号	所在地 〒###-#### 三重県志摩市●●町××番地 電話番号 (0599) #-#### FAX番号 (0599) #-####					
	名称及び担当者名	名称 BBBB 誌博新 担当者名 担当 CC CC					
※受付欄				※処理欄			

※印の欄は、記入しないでください。

(裏)

備考

- 1 行為の種類に応じて、別紙1、別紙2又は別紙3を添付してください。
- 2 景観法施行規則第1条第2項第1号、第2号、第3号及び第4号に規定する図書を添付してください。
- 3 「届出者」は建築主・施主の住所、氏名等を記入してください。
- 4 「行為の種類」欄は、該当する番号及び記号を○で囲んでください。また、建築物にあつては用途(例：事務所、賃貸共同住宅、共同商業施設、工場、パチンコ店等)を、工作物にあつては種類(例：煙突、鉄柱、高架水槽、アスファルトプラント等)を()内に記入してください。
- 5 「連絡先」欄は、届出内容の照会先として、届出者以外の者(設計者、施工者等)を希望する場合に記入してください。

なお、届出者以外の者が、届出に係る照会に関する回答以外の手続を行う場合は、別途委任状の提出が必要です。

行為の内容（建築物の新築、増築、改築、移転、外観の変更又は色彩の変更）

新築 増築・改築・移転 (該当行為に○を付けてください)			届出部分	既存部分	合計	
	敷地面積		2.000 m ²	m ²	2.000 m ²	
	建築面積		990 m ²	m ²	990 m ²	
	延べ面積		(1階) 910 m ²	(階) m ²	(1階) 910 m ²	
	高さ		11m	m	11m	
	構造					
	外部仕上げ	屋根	色彩	濃ベージュ(5.0Y4/0.5)		
			素材	コンクリート瓦ぶき		
		外壁	色彩	ベージュ(2.5Y7/4)		
			素材	ラスモルタルの上 薄付仕上げ塗材		
		届出部分	既存部分	合計		
敷地の緑化		緑地面積	30 m ²	50 m ²	70 m ²	
		樹種等	ツツジ、ケヤキ、マキなど	ヤマザクラ、クヌギ、ケヤキなど		
その他		敷地廻りのフェンスは、ダークブラウンとし、残した緑と調和するよう工夫した。				
外観の変更(修繕・模様替)・色彩の変更	(対象建築物)		変更面積	変更後	変更前	
	屋根	色彩	m ²			
		素材	m ²			
	外壁	色彩	m ²			
素材		m ²				
景観上配慮した事項 その他参考となる事項		既存の樹木や地形を、できるだけ残すよう配置計画を工夫した。 残した樹林地より建物の高さを低くし、周辺の景観から突出しないよう工夫した。				

備考

- 1 各項目について、建築物の新築に該当する場合は、既存部分欄の記入は不要です。
- 2 「敷地面積」欄には、行為に係る敷地の水平投影面積を記入してください。
- 3 「建築面積」欄には、行為に係る建築物の外壁又はこれに代わる柱の中心線で囲まれた部分の水平投影面積を記入してください。
- 4 「延べ面積」欄には、行為に係る建築物の各階の床面積の合計を記入してください。()には、階層を記入してください。
- 5 「高さ」欄には、地盤面から当該建築物の上端までの高さを記入してください。
また、増築又は改築によって高さが増加する場合は、既存部分欄に現在の高さを記入し、届出部分欄に増築又は改築する部分の高さを記入してください。合計欄には、増築又は改築後の高さを記入してください。
- 6 「構造」欄には、木造、鉄筋コンクリート造等の別を記入してください。
- 7 「色彩」欄には、色調、色相及びマンセル表色系又は日本塗料工業会標準色見本帳の記号を記入してください。(マンセル表色系の記号の記入例:濃い茶色(5 Y R 3 / 3)、淡い黄緑色(2.5 G Y 8 / 2)、薄いグレー(N7.5)、薄いアイボリー(5 Y 8 / 1.5)等)
また、複数の色彩を使用する場合は、「色彩」欄に「別紙のとおり」と記入し、立面図に各色彩を使用する部分(屋根面及び壁面のサインを含む。)に、その色彩を使う面積、色調、色相及びマンセル表色系又は日本塗料工業会標準色見本帳の記号を記入してください。
- 8 「素材」欄には、表面仕上げの素材等をできるだけ詳しく記入してください。(例:日本瓦ぶき、着色鉄板瓦棒ぶき、アスファルト露出防水、押出し成形板下地アクリルリシン吹付、コンクリート打放し、小口タイル張り等)
- 9 「その他」欄には、志摩市景観計画の景観形成基準に定める「外構、夜間の照明、その他、景観資源への配慮」に関する配慮事項を記入してください。
- 10 「景観上配慮した事項その他参考となる事項」欄には、当該建築物の建築等に当たって、特に留意した事項等を記入してください。
- 11 各欄に記入できない場合は、別紙又は添付する図書等に記入してください。

□景観形成基準チェックシート

「事前相談」及び「届出書（通知書）」に必要な添付書類（景観法施行規則又は志摩市景観規則）として、本チェックシートを提出してください。

届出者の氏名	XXX●●
行為の場所	志摩市 ●町 XXX-X
行為の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 建築物 <input type="checkbox"/> 工作物 <input type="checkbox"/> 都市計画法第4条第12項に規定する開発行為 <input type="checkbox"/> 土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更 <input type="checkbox"/> 屋外における土石、廃棄物、再生資源その他の物件の堆積 ^{たい}

行為の場所について、該当するものをチェックしてください。

<input checked="" type="checkbox"/> 一般地区				
山地里山ゾーン	里海・熊野灘沿岸ゾーン	市街地ゾーン	沿道ゾーン (内陸型)	沿道ゾーン (沿岸型)
	✓			
<input checked="" type="checkbox"/> 眺望保全地区				
横山展望台眺望保全地区		桐垣展望台眺望保全地区		
✓				

建築物等の外観の素材及びマンセル値を次の表に記入してください。

対象事項		素材		色彩計画		
建築物等の外観の素材・色彩	屋根材	洋	瓦	色相 5.0Y	明度 4.0	彩度 0.5
	外壁材	吹きつけ塗装		色相 2.5Y	明度 7.0	彩度 4.0
	()			色相	明度	彩度
	アクセント色	使 用 せ ず		色相	明度	彩度
アクセント部分などの面積		アクセント部分の面積	見付面積	見付面積×1/5		
	東立面	m ²	m ²	m ²		
	南立面	m ²	m ²	m ²		
	西立面	m ²	m ²	m ²		
	北立面	m ²	m ²	m ²		

□基本的基準（該当する景観形成基準のみ、主に配慮した内容を記入して下さい。）

基準表 A 建築物又は工作物の新築(新設)、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更

項目	景観形成基準	主に配慮した内容	適合	
規模・配置	A1 規模・配置	○周辺の建築物等や地形との連続性及び一体性が保たれる規模・配置とすること。	以下のとおり周辺の地形との連続性に配慮した。	<input type="checkbox"/>
		1 周辺に社寺林や防風林等の樹林地等がある場合は、できる限りその高さ以内にとどめる規模となるよう配慮すること。	周辺の農地や池、樹木を出来る限り保全・活用した。 敷地内に残した樹林地より低くした。	<input type="checkbox"/>
		2 山稜の近傍においては、できるだけ稜線を乱さない規模・配置とすること。	稜線を乱さない配置に工夫した。	<input type="checkbox"/>
		3 公園や緑地等に隣接する場合は、配置を工夫し、一体的な空間が創出されるよう配慮すること。		<input type="checkbox"/>
	A2 壁面	○壁面は、立地条件にあわせて、後退させるか、周辺の建築物等と位置を揃え、周辺の景観との調和に配慮すること。	以下のとおり配慮した。	<input type="checkbox"/>
	1 壁面の位置は、道路からできる限り後退するか、やむを得ず後退できない場合は、歩行者等に圧迫感を感じさせないよう壁面の前面部を生垣や植栽等により修景すること。ただし、周辺の建築物等の壁面の位置が揃っている場合はこの限りではない。	出来る限り後退し、前面には駐車場を設けた。	<input type="checkbox"/>	
形態意匠	A3 形態意匠	○周辺の建築物等や地形との調和に配慮し、全体的にまとまりのある形態意匠とすること。	以下のとおり配慮した。	<input type="checkbox"/>
		1 反射性のある素材を壁面の大部分や屋根に使用することは避け、周辺の景観から突出しないよう配慮すること。	反射性素材は使っていない。	<input type="checkbox"/>
		2 歴史的まちなみや集落景観の整っている地域、まとまりのある農地に近接する場合は、形態意匠を工夫し、隣地や周辺の景観との調和に配慮すること。		<input type="checkbox"/>
	A4 外壁	○壁面の仕様を適度に分けるなど、屋根、壁面、開口部等の意匠の工夫により、圧迫感や違和感を生じないよう配慮すること。	大きな壁面、屋根面にならないよう、平面形状を単純な四角にしないで大小の四角の組み合わせにした。	<input type="checkbox"/>
	A5 屋根	○勾配屋根又はそれに類する屋根形状とするなど、周辺の地形との調和に配慮すること。ただし、屋上緑化等の環境に配慮した屋根構造となっているものはこの限りではない。	背景の山並みと調和するよう勾配屋根にした。	<input type="checkbox"/>
	A6 色彩	○色彩は落ち着いたものとし、周辺の景観との調和に配慮すること。	以下のとおり配慮した。	<input type="checkbox"/>

項目		景観形成基準	主に配慮した内容	適合
色彩 (外壁)	1	建築物等の外壁については、派手で周囲の景観から突出しやすい高彩度色や明清色(明るく色味の強い色彩)を避けるものとし、別表の数値基準のとおりとする。ただし、着色していない木材、土壁等の自然素材や無彩色のガラス等の材料によって仕上げられる部分の色彩又は見付面積の5分の1未満の範囲内でアクセント色として着色される部分の色彩(伊勢志摩国立公園の普通地域のみ)については、この限りでない。	壁の色、屋根の色とも土の色に近い黄色系の色相で統一した。	<input type="checkbox"/>
	2	建築物等の屋根については、派手で周囲の景観から突出しやすい高彩度色や、まちなみや自然の緑と対比の強い高明度色を避けるものとし、別表の数値基準のとおりとする。	壁の色、屋根の色とも土の色に近い黄色系の色相で統一した。	<input type="checkbox"/>
A7 素材	○	素材そのものの良さを形態意匠に活かし、周辺の景観との調和に配慮すること。	以下のとおり配慮した。	<input type="checkbox"/>
	1	石材など耐久性に優れた素材や、自然素材、伝統的素材などを外観に採り入れ、年数とともに周辺の景観に溶け込むよう配慮すること。	壁面腰部分には磁器質タイルを貼り付けた。	<input type="checkbox"/>
A8 附属 建築物	○	道路や公園、誇れる視点場等の公共の場から望見できる車庫、立体駐車場、機械室等の附属建築物や屋外階段等は主体となる建築物等と調和させ、一体感のあるものとする。		<input type="checkbox"/>
A9 附属設備	○	附属設備は、道路や公園、誇れる視点場等の公共の場から露出しない位置に設けるか、ルーバーで覆うなど修景を行うこと。	一箇所にまとめ、ルーバーにより覆った。	<input type="checkbox"/>
A10 外構	○-1	敷地をフェンスや塀、垣等で囲う場合は、生垣や石垣等の自然素材又はこれに類する素材を使用し、歩行者等に対する圧迫感の軽減、周辺の景観との調和に配慮すること。また、透視可能な柵を設置する場合は、高さを抑え圧迫感を軽減するとともに、茶系の色彩を基本とすること。	ダークブラウンの格子状フェンスを採用した。	<input type="checkbox"/>
	○-2	擁壁が生じる場合には、既存の石積みの再使用や緑化ブロック等による修景など、形態や仕上げの工夫により、単調さや圧迫感の軽減や、集落景観の継承に配慮すること。		<input type="checkbox"/>
A11 敷地の 緑化	○	行為地内においては、できる限り多くの部分を緑化すること。	通りに面して植栽帯を設けた。	<input type="checkbox"/>
	1	緑化の際は、地域に自生し、周辺の景観と調和のとれた樹種を用いるよう配慮すること。		<input type="checkbox"/>
	2	行為地にある樹形又は樹勢の優れた樹木は、できる限り保存又は移植し、修景等に活かすこと。	行為地内の樹木を出来る限り残した。	<input type="checkbox"/>

項目	景観形成基準	主に配慮した内容	適合	
A12 夜間の照明	○夜間の屋外照明は、過剰な光が周囲に散乱しないようにするなど、照明の方法や設置場所を工夫し、周辺の状況に応じた夜間景観を演出するよう配慮すること。	壁面は間接照明によるライトアップとした。	<input type="checkbox"/>	
A13 その他	○行為地内の既存建築物等が景観を阻害している場合は、増築等にあわせてできる限り周辺の景観に調和させること。		<input type="checkbox"/>	
A14 景観資源への配慮	○行為地が文化財、特徴的な建造物や樹木等の景観資源に近接する場合は、その保全に配慮すること。	以下のとおり配慮した。	<input type="checkbox"/>	
	規模・配置	1 景観資源に近接して圧迫感のある壁面等が生じないよう、規模や配置を工夫すること。	英虞湾から出来る限り後退した配置とした。	<input type="checkbox"/>
	形態意匠	2 景観資源に近接する外壁や屋根の形態意匠、色彩や素材は、景観資源との調和に配慮すること。	別途色彩基準のとおり配慮した。	<input type="checkbox"/>
	附属建築物・附属設備	3 景観資源に近接して附属建築物や附属設備を設けないよう工夫すること。	英虞湾側に設けていない。	<input type="checkbox"/>
A15 電気・通信施設	○携帯電話基地局等の設置にあたっては、以上の項目に加え、設置場所や形状等について以下のことを工夫し、周辺景観との調和に配慮すること。		<input type="checkbox"/>	
	1 必要最低限の高さに抑えること。		<input type="checkbox"/>	
	2 主要な道路等からできるだけ離して設置すること。		<input type="checkbox"/>	
	3 行為地の周辺に歴史的まちなみや集落景観の整っている地域がある場合、そこから目立つ場所は避けて設置すること。		<input type="checkbox"/>	
	4 上部を小さくするなど、安定感のある印象をあたえる形態とすること。		<input type="checkbox"/>	
	5 山地や樹林地が背景となる場合は、背景となる樹木等に溶け込むように、茶系で低明度のもの(マンセル値 10YR2.0/1.0 程度)又は灰色で低明度のもの(マンセル値 N4.5 程度)とすること。		<input type="checkbox"/>	
	6 上記以外の場所においては、空に溶け込むように、灰色で中明度のもの(マンセル値 N7.0 程度)とすること。ただし、設置場所周辺の状況から別途配慮が必要な場合は、この限りでない。			
7 公共の場から望見できる場所に設備機器類を設置し、フェンス等で囲う場合は、フェンス等は設備機器類を含めて茶系で低明度(マンセル値 10YR2.0/1.0 程度)のものとするとともに、遮へい効果のある生垣等を敷地周囲に配置するなど緑化に配慮すること。				

項目	景観形成基準	主に配慮した内容	適合
A16 太陽光発電施設	1 太陽光発電施設の最上部は、できる限り低くし、周囲の景観から突出しないよう配慮すること。		<input type="checkbox"/>
	2 太陽光発電施設は、植栽等で目隠しを行うなど、道路等の公共の場所から容易に目立たないよう配慮すること。		<input type="checkbox"/>
	3 太陽光発電施設等を使用または設置する場合は、周辺景観との調和に配慮すること。		<input type="checkbox"/>
	4 太陽光パネルの色彩は、黒、ダークグレー又は濃紺色などで光沢や反射が少なく、目立たないものとする。		<input type="checkbox"/>
	5 太陽光発電施設等のフレームや架台、脚部、附属設備、フェンス等は、道路等の公共の場所から容易に目立たないように、位置や形状、色彩に配慮すること。ただし、遮へい効果のある生垣や板塀等を敷地周囲に配置するなど、周辺景観との調和に配慮した場合はこの限りでない。		<input type="checkbox"/>
A17 風力発電施設	1 規模はできる限り小さくし、尾根線上・丘陵地・高台・海岸線沿い等においては、スカイラインやその他の眺望に対して過大でない規模とすること。		<input type="checkbox"/>
	2 地形、植生等の地物を活かし、風力発電施設が目立たない位置に配置すること。 風力発電施設を複数設置する場合は、立地等の状況に応じて整然と配置すること。		<input type="checkbox"/>
	3 目立たない色彩(溶融亜鉛めっき及び低光沢処理(リン酸塩処理)を施し、外装色がつやのないグレー(N4.5程度))や反射の少ない素材を採用するなど、景観に配慮したものとする。 附属建築物及び附属設備は、周囲の景観と調和した色彩及び素材とすること。		<input type="checkbox"/>

□ゾーン独自の基準

基準表B 【山地・里山ゾーン】

項目	景観形成基準	主に配慮した内容	適合
B1 太陽光 発電施設	1 誇れる視点場から望見できる場所や山の斜面への設置は避けること。やむを得ず設置する場合は、人工物(土台や支柱を含む)の存在感や反射光を軽減させる工夫をすること。		<input type="checkbox"/>

基準表C 【里海・熊野灘沿岸ゾーン】

項目		景観形成基準	主に配慮した内容	適合
規模・配置	C1 規模・配置	1 海岸付近においては、海側の敷地境界線から建築物等をできる限り後退するなど、規模・配置を工夫し、行為地周辺の海岸からの圧迫感の軽減や、周辺の橋や対岸などからの開放感ある眺望の確保に配慮すること。	英虞湾から出来る限り後退した配置とした。	<input type="checkbox"/>
		2 行為地周辺の道路や公園、誇れる視点場等の公共の場から海が見通せる場合は、規模・配置を工夫し、海への眺望が確保できるよう配慮すること。	英虞湾への眺望には影響していない。」	<input type="checkbox"/>
C2 形態意匠		1 海岸付近においては、壁面等の形態意匠を工夫し、開放感と親水性に富んだ空間の創出に配慮すること。	英虞湾に対し出来る限り開口部を設けた。	<input type="checkbox"/>
C3 敷地の緑化		1 海辺の雰囲気醸し出す樹種の植栽に努めること。	楢垣を植栽した。	<input type="checkbox"/>
C4 太陽光発電施設		1 誇れる視点場から望見できる場所や山の斜面への設置は避けること。やむを得ず設置する場合は、人工物(土台や支柱を含む)の存在感や反射光を軽減させる工夫をすること。		<input type="checkbox"/>

基準表D 【市街地ゾーン】

項目		景観形成基準	主に配慮した内容	適合
規模・配置	D1 壁面	1 街路景観の整っている地域においては、できる限り壁面線を統一し、隣地や周辺との連続性に配慮するとともに、低層部分は壁面をセットバックするなど、ゆとりある空間の創出に配慮すること。		<input type="checkbox"/>
形態意匠	D2 外壁	1 商業・業務地においては、低層階の壁面の素材や形態意匠を工夫し、歩行者等に対するゆとりと開放感の確保や、にぎわいのあるまちなみの演出に配慮にすること。		<input type="checkbox"/>
D3 敷地の緑化		1 多くの部分が緑化できない場合は、シンボルツリー等の植栽により、通りに彩りを添えるよう配慮すること。		<input type="checkbox"/>

基準表E 【沿道ゾーン（内陸型）】

項目		景観形成基準	主に配慮した内容	適合
規模・配置	E1 壁面	1 建物が連担している地域においては、周辺の建築物の高さを超える高層部の壁面をできる限り後退させ、圧迫感の軽減に配慮すること。		<input type="checkbox"/>
E2 敷地の緑化		1 接道部や角地、駐車場等は積極的に緑化すること。		<input type="checkbox"/>

項目	景観形成基準	主に配慮した内容	適合
E3 太陽光発電施設	1 太陽光発電施設(柵塀等含む)は、敷地境界からできる限り後退し、圧迫感の軽減に配慮すること。		<input type="checkbox"/>

基準表F 【沿道ゾーン(沿岸型)】

項目	景観形成基準	主に配慮した内容	適合
規模・配置	F1 規模・配置 1 海岸付近においては、海側の敷地境界線から建築物等をできる限り後退するなど、規模・配置を工夫し、行為地周辺の海岸からの圧迫感の軽減や、周辺の橋や対岸などからの開放感ある眺望の確保に配慮すること。		<input type="checkbox"/>
	2 行為地周辺の道路や公園、誇れる視点場等の公共の場から海が見通せる場合は、規模・配置を工夫し、海への眺望が確保できるよう配慮すること。		<input type="checkbox"/>
形態意匠	F2 壁面 1 建物が連担している地域においては、周辺の建築物の高さを超える高層部の壁面をできる限り後退させ、圧迫感の軽減に配慮すること。		<input type="checkbox"/>
	F3 形態意匠 1 海岸付近においては、壁面等の形態意匠を工夫し、開放感と親水性に富んだ空間の創出に配慮すること。		<input type="checkbox"/>
敷地の緑化	F4 1 接道部や角地、駐車場等は積極的に緑化すること。		<input type="checkbox"/>
	2 海辺の雰囲気醸し出す樹種の植栽に努めること。		<input type="checkbox"/>
F5 太陽光発電施設	1 太陽光発電施設(柵塀等含む)は、敷地境界からできる限り後退し、圧迫感の軽減に配慮すること。		<input type="checkbox"/>

基準表G 【横山展望台眺望保全地区】

項目	景観形成基準	主に配慮した内容	適合
規模・配置	G1 規模・配置 1 建築物等の高さをできる限り抑え、横山展望台からの眺望を阻害しないよう配慮すること。なお、伊勢志摩国立公園の特別地域においては、自然公園法施行規則第11条により定められた高さ以下に抑えること。	英虞湾への眺望には影響していない。	<input type="checkbox"/>
形態意匠	G2 形態意匠 1 建築物等の高層部や塔屋への過剰な装飾は避け、横山展望台からの眺望を阻害しないよう配慮すること。	特に飾りは設けていない。	<input type="checkbox"/>
	2 塔屋を設ける場合、壁面や屋根が主体となる建築物等と一体感のあるものとする。		<input type="checkbox"/>

項目		景観形成基準	主に配慮した内容	適合
G3 屋根	G3	1 主体となる建築物等および塔屋の屋根は10分の3～5勾配のある勾配屋根とするよう配慮すること。	5/10とした。	<input type="checkbox"/>
	G4	1 アクセント色の使用は、横山展望台から望見できない部分に限るものとし、良好な眺望景観を阻害しないよう配慮すること。	アクセント色は使っていない。	<input type="checkbox"/>
	G5	1 横山展望台から視認できる部分への反射性素材の使用を避け、良好な眺望景観の保全に配慮すること。ただし、太陽光発電パネルなど環境配慮型の反射性素材を使用する場合は、設置方法や場所を工夫し、横山展望台から目立たないよう配慮すること。	反射性素材は使っていない。	<input type="checkbox"/>
G6 電気・通信 施設	1 横山展望台からの眺望を妨げる場所は避けて設置すること。		<input type="checkbox"/>	
G7 太陽光 発電施設	1 誇れる視点場から望見できる場所や山の斜面への設置は避けること。やむを得ず設置する場合は、人工物(土台や支柱を含む)の存在感や反射光を軽減させる工夫をすること。		<input type="checkbox"/>	
G8 風力 発電施設	1 視点場から見た場合に、英虞湾への眺望景観を遮らないように配置の工夫をすること。		<input type="checkbox"/>	

基準表H 【桐垣展望台眺望保全地区】

項目		景観形成基準	主に配慮した内容	適合
規模・ 配置	H1 規模・ 配置	1 建築物等の高さをできる限り抑え、桐垣展望台からの眺望を阻害しないよう配慮すること。なお、伊勢志摩国立公園の特別地域においては、自然公園法施行規則第11条により定められた高さ以下に抑えること。		<input type="checkbox"/>
	形態 意匠	H2 形態 意匠	1 建築物等の高層部や塔屋への過剰な装飾は避け、桐垣展望台からの眺望を阻害しないよう配慮すること。 2 塔屋を設ける場合、壁面や屋根が主体となる建築物等と一体感のあるものとする。	
H3 屋根		1 主体となる建築物等および塔屋の屋根は10分の3～5勾配のある勾配屋根とするよう配慮すること。		<input type="checkbox"/>
H4 色彩		1 アクセント色の使用は、桐垣展望台から望見できない部分に限るものとし、良好な眺望景観を阻害しないよう配慮すること。		<input type="checkbox"/>
H5 素材		1 桐垣展望台から視認できる部分への反射性素材の使用を避け、良好な眺望景観の保全に配慮すること。ただし、太陽光発電パネルなど環境配慮型の反射性素材を使用する場合は、設置方法や場所を工夫し、桐垣展望台から目立たないよう配慮すること。		<input type="checkbox"/>

項目	景観形成基準	主に配慮した内容	適合
H6 電気・通信 施設	1 桐垣展望台からの眺望を妨げる場所は避けて設置すること。		<input type="checkbox"/>
H7 太陽光 発電施設	1 誇れる視点場から望見できる場所や山の斜面への設置は避けること。やむを得ず設置する場合は、人工物(土台や支柱を含む)の存在感や反射光を軽減させる工夫をすること。		<input type="checkbox"/>
H8 風力 発電施設	1 視点場から見た場合に、英虞湾への眺望景観を遮らないように配置の工夫をすること。		<input type="checkbox"/>

基準表 I 開発行為又は土地の開墾その他の土地の形質の変更
(土石の採取又は鉱物の掘採を除く。)

項目	景観形成基準	主に配慮した内容	適合
I1 形態意匠	○できる限り現況の地形を活かし、長大なり面又は擁壁が生じないようにすること。やむを得ず生じる場合は、り面をゆるやかな勾配とするか、分割し、圧迫感を軽減するよう配慮すること。また、擁壁は石積みや緑化ブロック等により修景するよう配慮すること。		<input type="checkbox"/>
I2 緑化	○り面や敷地の外周等は、できる限り多くの部分を緑化すること。		<input type="checkbox"/>
	1 り面は、緑化のためにできる限り緩やかな勾配とし、周辺の植生と調和のとれた樹種により緑化すること。		<input type="checkbox"/>
	2 行為地にある樹木は、できる限り保存又は移植し、修景等に活かすこと。		<input type="checkbox"/>

基準表 J 土石の採取又は鉱物の掘採

項目	景観形成基準	主に配慮した内容	適合
J1 採取の方法	○土石の採取又は鉱物の掘採の位置や規模を工夫し、道路や公園、誇れる視点場等の公共の場から目立ちにくくすること。		<input type="checkbox"/>
J2 遮へい	○行為地が公共の場から見える場合は、できる限り植栽又は塀等により遮へいし、背景や周辺の景観との調和に配慮すること。		<input type="checkbox"/>
J3 緑化	○採取又は掘採の跡地は、できる限り周辺の植生と調和した緑化を行うこと。		<input type="checkbox"/>

基準表K 屋外における土石、廃棄物、再生資源その他物件の堆積^{たい}

項目	景観形成基準	主に配慮した内容	適合
<p>K1 集積・貯蔵の方法</p>	<p>○集積又は貯蔵の位置や規模を工夫し、道路や公園、誇れる視点場等の公共の場から目立ちにくくするとともに、積み上げる高さをできる限り低くするなど、整然とした集積又は貯蔵とすること。</p>		<input type="checkbox"/>
<p>K2 遮へい</p>	<p>○行為地が公共の場所から見える場合は、できる限り植栽又は塀等により遮へいし、周辺の景観との調和に配慮すること。</p>		<input type="checkbox"/>

□ 参考様式

委 任 状

平成 **25**年 **10**月 **30**日

住所 東京都〇〇区△△××番地

氏名 A A A A 印

私は、下記のとおり代理人を定め、景観法及び志摩市景観条例に基づく手続きに関する一切の権限を委任します。

記

1. 代理人

住所 愛知県名古屋市▲▲〇〇番地

氏名 BBBB 建設(株) 担当 CC CC

連絡先(電話番号) (052) ### - ####

2. 行為の場所（地名地番）

志摩市 三重県志摩市●● ××-×